

磐城日報

発行所 磐城日刊社
電話 (一) 二二二
印刷所 磐城日刊社
編集者 後藤幸夫
印刷者 山本善徳
毎週水曜日休刊
一ヶ月三十四日
購読料 一月一円

色彩も鮮かな豪華版

七夕祭五万の人出 人と色紙でゴツタ返し

七夕祭二日目の平市内商店街は早朝から飾付けを始め、十一時ごろまでには十数万人に及ぶといふ豪華版で、色彩もあざやかな五色のトーンに着色するのだからあの布地の押し寄せた約五万の人波をあきり首から釣つた長いでいすこも押すすくの大ヒモ付きの財布と相談して混雑を呈し、三米余に及ぶる姿が見受けられ、イヤキンズボン、童話から取れた狸踊り等それらの程の人だかりだが、案内資に目にしたモデルで多額多額が出版、見物人は懐懐し平名物ごけし人形を喜ばせている、某デパートは懐懐し平名物ごけし人形トは身動きも出来ぬ程の人ん嬪ちやん方に百圓未満の混み、ワインドローには、ピカピカ小なもののが羽がはえたよ、光る高価なブローチやロケットを覗みガラスに

ヤハリ休めぬ先生ら

二次認定講習終る

七月二十六日から開講された免許受講者は三百五十名、第二次前期教員認定講習二級免許二百五十名の講習は去る十七日で終了したが、者があがる出席率は九十五、全国的に紛糾を極めた以後、ただあつて第一次講習のよき好成绩をあげた、縣教委は、うな非難の聲もなく、でもへき地学校勤務の先生教鞭をとるリーダーだけに方には通信教授を行つたの至極マジメのもの、一級で、三坂、永戸、川前(補

泌尿器科 性病科

内科 外科

平市縣社下 矢吹醫院
電話 1193・1295

ばならすやむ暇なしとい、主催せん国夏季労働大學第一の天野文相の講演は六日、又九月初旬開講を決定していた第二次後期分認定講習は縣教委の計画が變更され、今後の実施計画は全く見通しがつかず、相違の期間遅れるものと相違される

草野に疑似赤痢

草野村大字泉崎宇前原六坂本マヨ子(母)は十八日發病、十九日疑似赤痢と決定隔離された

七夕祭の雑を狙う

すてにスリ一件
市署で警告

平市中平窪宇宮間三五農小右側通行を遵守すること、野地徳太郎(三〇)さんは二十又人混みを狙うスリの横行、日午前七時四十分ごろ平窪待合室改札口附近でズボン、後ポケットより現金千二百圓入の皮製財布をすられた、また小名浜町竹町九三自動車を運転する林崎仙次(四〇)は十九日午後八時三十分ころ平窪中央通りを通行中ズボン、後ポケットから現金七百五十圓及び運轉免許證、寫眞二枚などすたられ、平市署に届出た、尙同署では七夕の出入に伴い犯罪防止のため次の様に警告している、道路通行の際は必

夏期労働大學

文相講演日變更

来る八月二十一日(日)から湯本町で開かれる文相省

平白慢

○平白慢○

赤垣

江戸前 生すし

平仲田町 電292

小野榮吳服店

お買物は
品質を誇り良品廉賣の

残暑の宵のひとときは
甘いメロデーにつけて

ハイモニカ キクヤ楽器店
グアイオリン

平二丁目

東龍軒

お盆の御食事は
明るく気分よい

中華料理と
日本料理の

平中央通り 電一二三六

大奉仕

夏服地
子供服

一掃ル

ヤ

平四丁目 電140

写真

は誠實本位の
2割引致します

大野写真館

平市田町電三七二

★七夕祭り—19・20・21日 ★ジャンガラコンクール—22日 ★盆踊り大會 27日—29日 (自8月19日至9月2日)

祭 夏 物 名 平

◆ お盆には信用とお客様本位の下記店を御すゝめ致します ◆

市内の盗難

四十八件に及ぶ

最近市内に盗難事件がひん(二十四)自轉車(十)ス
びんと發生し、悲劇を生んり(九)屋外物盗(五)などで
計による盗難件数は四十八完全留守の間の出来事であ
件にのぼり、六月中に比較り同署では犯罪防止に努め
すると四件ほど多くなつてると共に市民の一段と注意
を、内譯すると屋内窃盗されるよう要望している

平映画物語 その二

平館支配人 安部元久

その後有聲座では日活會社始め大正六年舊盆ころ開館
と契約「目玉の松キヤン」確定と同時に松田氏は遂に
の愛稱を持つ尾上松之助主 金策成らず平館へ移轉準備
演のものトツビもなく人の爲と稱し一ヶ月余も休館
氣があつたが、これも永續した、新設の平館は三町目
させず且つ映画會社も東亞 大谷氏、田町島田氏が主体
キネマ或いは新興キネマとで落成し同年舊盆に確定
いろ／＼變更しその上興業通り松竹キネマ株式會社作
主も越後屋さんに變り、間 品映畫で目出度く開館し、
もなく現在の世界館主の鈴 大正六、七年に至り再び景
木寅次郎氏が經營すること 氣を盛り返し盛況を呈した
になつた、この間上映したこの頃の映畫は栗島すみ子
新興キネマ作品の「籠の鳥」や川田芳子らの槍舞臺で、
は當時大センセーション「枯木」野の花が大當
をまさおとし今なお記憶にり兎も角、當時の人氣スタ
残つてゐる、次に上映した「は男優では尾上松之助、
「愛染かつら」も同様大人氣女優ではこの二人が一番名
を博した、その頃から漸くが賣れており、幼き子でも
不景氣の波が襲來、開演當 知らぬものはない位であ
時の威勢も何處吹く風と消つた、大正五、六年頃に機
え去り眞にサンタンたる運 械はやつと二台使用するよ
命に立ち至り經營困難に落 うになつたが、やはり手廻
入つた、興業主は館員の給 料不拂を來し且つ會社から
料不拂を來し且つ會社から ばかりの全盛期時代で新舊
はフィルムが止まる状態 劇ともセリフを使つた、新
松田氏等は連日連夜金策に 派には琵琶を入れ、平手錦
狂奔していた、この不景氣 大原、金成らの有名辯
時代を尻目に平館は建築を 士が大奮闘したものだ、

運轉手に暴行

18日植田地區署へ
植田町東田農業、赤津喜一
(三)は十七日午後九時ごろ
酪酐の上磐崎村上湯長谷地
内道路上で平市三井タダシ
内方ハイヤー運轉手菅野庄
司(三)とすれ違つた際、オ
レの荷馬車に突き當つたと
同車のナンバーもどつ

佛供養 盆踊り大會

27日平 驟前
佛供養盆踊り大會は市當局
市白銀青年會では市當局
商工會議所、佛教同志
東寺流大師講平支部後
の援のもと来る二十七日午後
七時より驟前廣場前で神谷
花形トキキ時代になると七時
眞先きにパトトキキ映飯野を
書が出現、これはフィルム
の要所がトキキになつて倍
踊りにより新佛の供養會を
盛大に催すことになり、主
催者側では多數の參詣者を
要望している

二(東) ス(西)

警察警備隊員募集が生
んだナンセンスとして十
九日水戸市署に願書を提
出に來た水戸市八幡町東
區無職三村忠行(三)は、こ
首所持の尋ね者、これは
で留置場直行は二名とな
つたわけ、尙土浦市西町
職高梨正之助(三)は去
十三日同隊志願書を出し
たが、十八日ヒロポン注
射の金に窮して母親に日
本刀をつきつけ脅かして
いる處を銃砲刀所持禁止
令違反で土浦署へ
盛岡市馬町吉田博さん
(三)は父に無断で警察隊
備隊を志願、いよ／＼二
十日地區警察署でテスト
を受けるばかりになつた

が十八日夜兩親に打開け
ると父親はカン／＼に怒
り「貴様は立派な配電工
ぢやないか、サテハ六万
圓に目がくらんだナ」と
大反對され悲觀の絶頂に
落入つた博君は精神に異
常を來し十九日朝自宅の
物置小屋で首をつり死ん
でしまつた、吾も／＼と
應募者殺倒の豫備タイ志
願に捲き起した一大悲劇
長男を失つた父末次郎さ
ん「はさて／＼若いモン
の心理は解らない」
★天★
★聲★
★十一字詰三十
行以内で建設
的な意見の投
書を歓迎いた
します(係)

「放火ぶちこわし投亂石
闘が始り常習化して來た
競輪はもうこの邊で全廢
を考へてよい時期だ(中
略)競輪トバクは勤勞者
の娛樂では決してない仕
事もしないで競輪場から
競輪場へトバクチ巡禮し
て居る手合ばかりである
八月十七日付朝日新聞天
聲人語欄にこう書かれ
て居る更に極言して「國
民性の墮落化にベダルを
ふんで居るのが競輪場だ
といつても過言でない」
とまでいつて居る、元來
私は市の財政上の見地か
ら競輪も止むのであるがこ
れはあまりに甚しい暗害を
持つ競輪のげん貫である
許可となり着工と定まつ
た今日あつて此苦言を呈
するの愛市の赤心から
である市當局の良識を期
待する 田町署

三町目の中元福引大売出

新舊 8月16日ヨリ25日迄 御買上 100円毎に福引券一枚差上ります 50円毎に補助券一枚差上ります

お客様への奉仕の一念から
先を見越して生地を買付けました
価格は元のままの据置です御注文に
絶好の時と存じます 何はともあれ御
來店か御電話を(電957番)へ
先地注文も又是非!!
平市三丁目紅小路
渡邊洋服店

夏分お疲れの
回復には何をしても
みどりや
霜降牛肉を
みどりや
一丁目通 539
中央通 794

化学的 防水加工 開始
「サク酸」アルミナ法
ドライクリーニング
平市大町 電六〇六
ナガヤマ
洗濯：染色

番 12 番
洋装運動着
ミシン加工一般
マルニ工業所
坂本 俊一
電話 草野
営業所 草野 隣前
自宅 草野村火宮六二